

ゆき

農林水産省登録認定機関・特定非営利活動法人(NPO) 熊本県有機農業研究会 発行
〒861-8028 熊本市新南部2丁目5-13 Tel096-223-6771/Fax096-223-6772 振替:01980-7-18438

2011/03 春号

37号

通刊74号

<http://www.kumayuken.org/>
✉ info@kumayuken.org

- ＊ ゆうきフェスタ2010報告
 - ＊ 各部会活動
 - ＊ オーガニック食クエスト【Cafe3】
 - ＊ 総会報告ほか
- 事務局からのお知らせ



おでんやふろふき〇〇などが美味しい、白くて大きな根菜です。【写真：野中 元】
この写真は赤い品種の花なので、薄く色づいています。

連載企画！ 種*花クイズ

Q. 右の写真は何の野菜の花
でしょう？

＊ 正解者の中から抽選で2組（計4名様）に、有機食材を使ったレストラン等で使える約1000円相当のチケットをプレゼントいたします。わかった方は、ぜひご応募下さい。

＊ 応募先やチケット利用
可能店など、詳しくは
4面へGO！

種はこんな姿です→



身土不二

オーガニックストア ビオ天粧錦ケ丘

代表 福山 曉三

有機野菜を食べ始めて、もう40年近くもなります。自分はお小児リウマチ、父母も兄弟もみな持病を抱え、病氣一家でした。あるお医者さんの助言もあり、小学校低学年の頃に、父親が食事を玄米菜食に切り替えました。とりわけ生命力いっぱい有機野菜とお米のおかげで、自分が中学に上がる頃には、病弱だった体もすっかり丈夫になりました。家族の病氣もうそのように無くなり、元氣いっぱい家族に生まれ変わっていました。

親の仕事も、化粧品販売から、有機野菜と無添加の食品の販売に変わり、生活の中に、当たり前のよう有機農業の生産者の方と、提携する消費者の方がいつもいらつしやいました。

おいしい野菜と、有機農家の方の真直な心と笑顔に囲まれた生活はとても心地よく自分も平成元年より、家業の有機野菜の販売を手伝い始め、家族も増え、平成19年には、みなさんに支えられ、新しく自分の店舗も持つ事が出来ました。

2年前、やりがいのある仕事と、健康と、幸せな生活が送れる事への少しでも恩返しが出来ればと思い、有機JAS認定機関でもある「熊有研」の理事をさせて頂き、お手伝いをさせて頂いております。

先日ある有機農業の生産者との話の中で、その方の母さん(80歳代)は、「野菜を食べれば、その野菜が、有機野菜かそうでないかが、味と匂いでわかる。」とおっしゃっていました。毎日、有機野菜を食べていても、農薬や化学肥料の匂いを知らない自分は、味や匂いに違和感を持って、それを的確に農薬や化学肥料と認識する事は出来ません。たぶん多くの消費者も同じではないでしょうか。

いろんな場所で「安心、安全、新鮮」と書かれた野菜やお米を手に入れる事が出来るようになった現在、改めて、有機JAS認証制度のお陰で、自分や家族も、また消費者の皆さんも、「本当に安全な野菜やお米」を選択出来る事を痛感しました。もちろんその為に、生産者の皆さんが日々の農作業の他に多くの手続きを、して頂いている事に対して、深く感謝する事も忘れてはいけないと思います。

有機農業は、単に経済活動ではなく、やはり有機農業運動だと思っています。

多くの赤ちゃん、子ども、大人、お年寄り、健康な人も病氣の人にも幸せな今と将来をもたらす有機農業運動がますます発展することを願ひ、ひとりでも多くの消費者にお伝えしていきたいと思っています。

《しんじふじ》…身体は土と離れてはあり得ないといひ。

農業を営むひとたちにとって大切なキーワードとなっています。

出展者一覧

NP0法人全国有機農業推進協議会
らぶらんどエンジェル
熊本市廃棄物指導課
(財)自然農法国際研究開発センター
まると油脂化学㈱
コープ熊本/㈱一次産業サービス/
ちかけん/平家屋
農事組合法人ちくりんの恵
ピオ天粧錦ヶ丘
キッチン太郎
東海大学農法研究所
くまもと新規就農者ネットワーク
山都町バイオ燃料推進協議会
松合食品
秀明自然農法ネットワーク
地産倶楽部
人吉市有機農業推進協議会
熊本県愛農会野菜部
堀内製油
(株)ヘルスコガ
熊本のいのちと土を考える会
(有)シリカファームすい
POP COFFEES
マナバーガーズ
宇城市有機農業推進協議会
九州の食卓
百草園・万菜村
山都町有機農業協議会
矢部高校生活・園芸部
のむら自然農園(野村哲也)
(株)果実堂
くまもと産直クラブ
(株)マルタ
(有)くまもと有機の会
阿蘇バーガーショップ・緑の資産
農文協
熊本県厚生農業協同組合連合会
九州農政局
くまもと有機農業推進ネットワーク
くまもとグリーン農業推進協議会
熊本県立大学 地域連携センター
野菜ソムリエの会・熊本
中重企業
熊有研青年部・種苗部・広報部・
食農教育部・菜の花プロジェクト

おつかれさまでした！
これからもよろしくお願いします！

◆主催
ゆうきフェスタ2010実行委員会
(内田敬介委員長、安藤光一企画
委員長)

◆共催
くまもと有機農業推進ネットワ
ーク、全国有機農業推進協議会

◆協賛
松合食品(株)、JA熊本中央会、
(株)果実堂、(有)くまもと有機の会、
医療法人社団寿量会、中重企業(株)、
大東肥料(株)、(株)ティア、(有)内田
安喜商店、(株)ヘルスコガ、(株)マルタ
グループ、人吉市有機農業推進協
議会、山都町有機農業推進協
議会、原田アイガモ孵化場

◆後援
熊本県立大学、九州農政局、熊本
県、熊本市、熊本県教育委員会、熊
本市教育委員会、熊本日日新聞社、
NHK 熊本放送局、RKK、TKU、KAB、KKT

当日は、小さな子ども連れのご家
族や若い女性をはじめ、たくさんの方
々にご来場いただきました。澄み
きった青空と紅葉した銀杏の下、美
味しいごはんや食材を片手に楽し
んでいたただけではないかと思
います。

今年、ご来場いただけなかった
方にも内容をお伝えできるように、

催しました。

11回目となる
今年のテーマは
「はじめる！有
機」。全国有機農
業推進協議会や
熊本県とも連携
して、より開かれ
たフェスタを目
指しました。

※ワークショップ
屋外では食材等の販売のほかにも、実際にその場でものづくりを体験できるワークショップも行われました。せっけん作りや竹のランプシェード作りなど、親子連れを中心に賑わっていました。



※映画上映

今年、有機農業映画の名作「いのち耕す人々」と熊本初上映となったドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の2作品を上映しました。「ミツバチ」は瀬戸内海祝島での原発問題と、スウェーデンでの持続可能な社会に向けた取り組みを追った話題作。観終わった後



※屋内会場での展示ブース

屋内会場(学生ロビー)では、8団体が展示や体験コーナーなどを出展。農業や健康、野菜料理のポイントについての質問など、出展者と来場者が直接じっくりとお話できている様子でした。

有機農業の先駆け・金子美登氏や歌手の東田トモヒロ氏ら多彩なメンバーで開かれたシンポジウム「からだがよくなる野菜の作り方」と、アレルギー専門医・吹角隆之氏の講演会、私たちの健康と化学物質」は、録画したDVDが事務所にあります。ご覧になりたい方は事務局までお問合せください。



に感想を話し合う様子も見られ、私たちが使うエネルギーや資源の循環などについて考えて行動をはじめ、そのきっかけとなるような映画でした。

九州・山口有機農業の祭典@鹿児島

有機農業を続けてきた原動力の一つ、を実感させてもらいました。私は今回、第4分科会「有機農産物の価格及び流通・販売について」の座長をつとめさせてもらい、生産者・流通関係者・消費者・事業者から現状と課題、持続可能な有機農業を考えることができました。23年度、第19回は熊本での開催です。皆さん、参加準備をよろしく。

宇城市有機農業推進協議会 森田良光

今年、第18回大会。1月29日から30日にかけて、霧島に200人あまりが集いました。記念講演、実践報告、分科会での意見交換、翌日の種苗交換などなど内容豊富な大会。熊本関係は約40人、宇城から10人が参加。

年に一度、有機の仲間が再会する。元気を出し合う。その一番の楽しみは、懇親会そして夜な談義。今年も本場に盛り上がりました。



●青年部 ～農機具メンテナンス講習会を開催～

2月19日(土)午前中、熊本市本荘の坂田農機で農機具メンテナンス講習会を開きました。当日はトラクターや耕運機、管理機、草刈り機など、実際に農機具を目の前に置いて安全に使うための注意事項や使い方、メンテナンスの仕方、農機具の選び方などについて教えてもらいました。午後の熊有研総会開始に遅れるのではないかと思います。長時間に亘り、懇切丁寧に、こちらの疑問がぶつとぶくらしい丁寧に答えてもらい、みんな大満足でした。



＜青年部 西田陽子＞

各部会活動

●食農育部 ～東城百合子氏の講演会を終えて～

東城百合子さんとの出会いは「食生活が人生を変える」という1冊の本でした。その頃は、子供が熱を出しては、すぐに病院に行き、2時間待ち、3分診療、多量に出る薬に後悔しながら帰る事を繰り返していました。また、我が家の食卓の主食を玄米に変えた頃でもありました。本を読んで副食も野菜中心になり、病院に行く回数も減っていききました。



今回、ご縁あって、東城さんの講演会に関わることが出来、大変感謝しています。少しお話しする時間があって、日頃から子どもが口にする食べ物について気になっていたことをぶつけました。そのお答えは、厳しい口調の中にも深い愛情が感じられ、このままで大丈夫なんだという勇気を頂きました。これからも、子ども達に心のこもった食べ物を作っていこうと思いました。

1月20日(木)、崇城大学市民ホールでの講演会は、当日来られた方も多数いらっしゃり、急遽後ろにお席を追加し、250名の席がほぼ満席となる盛況ぶりでした。また、みなさん食べ物や有機農業に感心のある、意識の高い方々で、質疑応答の時間も大変白熱しました。

＜食農育部 馬場佳乃子＞

●種苗部 ～九州・山口有機農業の祭典 2日目の種苗交換会～

祭典1日目は実践的に有機農業をされている金子美登さんの報告があり、ためになる所がけっこうあった。2日目の11時から、45分間、種苗交換会が開かれ、40名の種をもってこられた方が種の特徴を説明され、その後、種を持ってきた人40名で種の交換が始まった。それが終わり、次は自家採集の種を持ってきていない人たちの交換会が始まると、直ぐに種もなくなった。



80種類ぐらいの種が九州の各地に持っていかれ、それぞれの種にまた磨きがかかり、来年への種苗交換会に出品されるのが待ち遠しいと感じられる思いでした。

＜種苗部 徳田勇次＞

ホカッ食クエスト

ゆうき しよく たんぽう

vol.12

by 広報部



DATA

Cafe3
熊本市麻生田4-2-40
TEL:096-338-3355
<http://cafe3veggy.blog11.fc2.com>

Cafe3 ～“第3の空間” 我が家に職場、その次にCafe3～

北バイパスから少し脇道に入った場所にある「CAFE3」。入ったとたんに寛大な心になる(ような気がする)のは、広々としたガラス張り高い天井の効果…と思うのは早計である。なんといってもテーブル間のスペースが広い!ちょっと席を詰めたらミニライブくらいできそうで、某コーヒー店とは段違いの開放感だ。さらに奥に進むと、実は隣のあるお店と繋がっていて…!?な

「本日のスープ&ベーグルランチ」デザート付きは、ベーグル、焼き菓子、ドリンクをそれぞれ選べるとのこと。あれこれ迷いつつ、イチジク入りベーグルとチョコランベリーマフィン、豆乳チャイラテをチョイス。甘酸っぱいトマトベースのスープも含めて、ふんわりやさしい味にまとめられていました。料理の美味しさもさることながら、お店のルーツに惹かれて常連になった人は、店内奥に秘められた「環境への配慮」に共感した人なのかも。楽しいひとときがポジティブ力アップに繋がる「第3の空間」でした!

※近隣の生産者の有機野菜を使用しているそうです。＜松本恵美 記＞

* Cafe3の隣には、アウトドア・スポーツウェアのブランドpatagoniaの専門店「フェアバンクス」が併設されています。patagoniaは、機能性と丈夫さ、リサイクル素材の使用など製品づくりへのこだわりと、環境問題への先進的な取り組みでも有名な企業です。patagoniaの服を着て農作業をすれば、自分とみんなと地球の健康にもっと貢献できるかも!?



❀ 前回の答えは「おくら」でした。